

会議録

(1) 会議名

令和3年度第1回北杜市清里地域活性化委員会

(2) 開催日時

令和4年3月22日(火) 午前10時～11時55分

(3) 開催場所

北杜市役所本庁 北館大会議室

(4) 出席者

委員

関係団体を代表する者	浅川	力三
関係団体を代表する者	小野	光一
関係団体を代表する者	三井	健一
関係団体を代表する者	松尾	忠良
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	浅田	豊久
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	輿水	順彦
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	小林	昭治
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	五味	愛美
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	関岡	真
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	谷口	信
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	秦	英水子
清里地域に活動の本拠を有する個人及び法人	船木	良
学識経験者	安藤	勝洋
関係行政機関職員	内藤	卓也
その他市長が必要と認めるもの	土屋	淳

市役所

北杜市長 上村英司

北杜副市長 小林明

関係部局職員

事務局

産業観光部長 輿水 伸二

観光課長 跡部 秀之

観光課 観光振興担当リーダー 田中 佐記子

観光地域おこし協力隊 神谷龍範

観光課 観光施設担当 小尾 博

政策秘書部長 宮川 勇人

政策推進課長 浅川 豪

建設部長 大輪 弘

まちづくり推進課長 末木 陽一

まちづくり推進課景観指導担当リーダー 吉田 武

高根総合支所長 小尾 正人

(5) 議題

- ・委員会の概要、今後のスケジュールについて
- ・意見交換（清里の将来像と課題について）
- ・その他

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 2名

(8) 議事の進行経過

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 委員紹介

4. 公開の可否の審議

(事務局)「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第4条に、公開非公開の決定は会議の開催前にあらかじめ、決定することが規定されている。非公開の意見がないため、同要綱第3条に基づき、本日の会議は公開としてよろしいか。

(委員一同) 異議なし

(事務局) 異議なしとのことなので、公開とする。

5. 市長あいさつ

6. 山梨県議会議員あいさつ

7. 委員長、副委員長の選任

(事務局) 協議会設置要綱第5条において、協議会に委員長、副委員長を置き、委員の互選によってこれを定めると規定されておりますが、方法についてはいかがするか。

(委員) 事務局に案ないか提案。

(事務局) ご提案をいただきましたので、委員長山梨県立大学国際政策学部国際コミュニケーション学科教授の安藤勝洋委員を、副委員長に、前北杜市商工会会長、公益社団法人キープ協会理事、清里観光振興会会員の輿水順彦委員を薦めたいと思うがいかがか。

(委員) 異議なし。

(事務局) 異議なしとお声をいただきましたので、委員長に安藤委員、副委員に輿水委員ということで、皆様の拍手を持って御承認いただきたい。

(委員) 拍手。

8. (事務局) それでは、安藤委員長より一言あいさつをお願いします。

9. 安藤委員長あいさつ

10. 議事

(事務局) 協議会設置要綱第6条に基づき、安藤委員長に議長となつていただく。

安藤委員長に議事の進行をお願いする。

(議長) 会議録については、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第9条により会議の会議録を作成し、公表することとなっている。

また、会議録には会議で指名する者、2名以上の署名が必要であり、議事録署名委員を委員の方々から指名する。

「委員名簿」順で、浅川力三委員と小野光一委員を指名する。

それでは、議事について事務局より説明を求める。

(事務局) (1) 委員会の概要及び今後のスケジュールについて、別紙資料をもとに説明。

(議長) 事務局からの説明が終了したが、始めに、ご意見ご質問があれば伺いたい。

(委員) 意見なし。

(議長) (1) については以上で区切りとする。(2) 清里の将来像と課題について委員は1人ずつ発言をお願いする。

(委員) 清里全体という形でとらえていただきたい。

(委員) 計画に対する規制が必要。廃墟のようなところがあり足を引っ張っているのを感じる場所がある。まちづくり委員会とかを作っていただきたい。住民の方々が意見を集約できるような形ができればいい。10年後は大成功を収めているというような形での進め方をしなければ、20年後は後継者問題を解決しなければならない。序盤をここでしっかり作っていただきたい。

(委員) 北杜市に観光で行くイコール必ず清里に行くと思わせる場所にしたり、景観を含めて誰でも一日中楽しめる場所にする。交通機関に弱いところがあるので、逆に歩いて回れるような仕組みを作って改善できないか。

(委員) 清里の森についてももう少し県と市のタイアップが必要ではないか。若者を集客する魅力がない。昔来てくれた人が年をとって来訪した際、がっかりすると2度と来てくれないので、この点は考える必要がある。3つ提言したい。脱富士山、SNSによる情報発信量の拡大。清里イメージ大使の起用。

(委員) 今回の会議が市の枠組みでやっているのでもっと北杜市に貢献したい。観光の中核としてインバウンドや域外からの観光客の呼び込みも大事だが、市民の方が気軽に訪れリフレッシュできる場所を考えたい。観光の拠点となることで市の農産物を使うことやいろいろなスキルを持った人が活躍することで雇用の創出し、定住人口を増やす。景観はマイナス面もあるがプラス面が大事で、黄色い橋から清里に上るところは伐採がされて見違えるほど景観が良くなった。樹木の伐採はいろいろ難しいと思うがそういったことを含め景観は是非考えたい。

(委員) いくつかのアンケートによると、清里は「高原」で来訪者の70%以上の方もまた来ている。思った以上に自然の豊かさを非常に感じている。高原をイメージした取り組みで「フォレストネイチャーリゾート」を徹底的に行い、地域一体となつてつなげる。ウェルネスリゾートで森、公園、水、食、遊歩道などをつなげることが大事。駅前の今後の方向性はオーナーチェンジで若い人が入ってきている。インバウンドの受け皿としてソフト・ハード面の整備もやっていきたい。景観は雑木の成長、廃墟の撤去、牧柵の撤去と整備もできれば素晴らしい。美し森といった財産がこれを中心に清里を盛り上

げていければよい。

(委員) 循環社会、環境教育、SDGs、オーガニック、エシカル、この辺のキーワードを清里に求めている人はかなりいる。特に20代がこのキーワードに反応していて、キープ協会が40年前から環境教育の中心的な役割として日本を引っ張ってきた歴史がある。SDGsが注目されているので町全体、特に駅前から環境型イメージで作り上げていくことが必要。北杜市を含め、若い世代から愛されて行かないと町は成立しない。昔愛してくださった60代、70代にもさらに愛され、ファンを20代に持っていきたい。3月になってから卒業旅行と思われる若い世代の人が街を歩いていて明るい兆しがあるのでこの点に注目して事業を取り入れて欲しい。

(委員) 清里に対してのイメージは美し森で、美し森から見る景観が好き。委員会を進めていくことで清里のイメージが生まれてくるとよい。地元の皆さんがこの委員会でコンセンサスができて、多方面に強力なツールができることを期待している。清里の2つの財産区の方にも入っていただいて活性化を一緒に議論するのがよいのではないか。

(委員) 清里は歴史的に若い世代がチャレンジできる地域であった。若い人たちが活力ある活動をしないうちの地域は活性化しないと感じている。30代、40代のリーダーを育成して欲しい。

(委員) ブランディングのやり直し、もしくは強化する。50歳以上のファンの世代の求めるイメージと20代から下の求めるイメージからブランディングをしていくと、30～40代の子育て世代にアプローチができるのではないか。SLの事業の際に感じたことは、次世代のサポーターの創生。お金をかけず、宣伝する方法にGoogleマップの活用があり、こまめな活動をみんなでやる必要がある。

(委員) 景観をどう維持するか、目立つ廃屋をどうやって撤去し、トイレなどを整備しメンテナンスをしていくか。どう活用するかがポイントとなる。委員の皆さんが、北杜市に清里がある、山梨県に清里がある、日本に清里があるという風に自信と責任を持っていただける地域を作ればと考える。

(委員) 清里に住む人達、活動する人たちの思いから将来像が見えてくる。広域観光圏の設定もあり、周辺と連携して、静岡県側の中部横断道が開通し、誘客の機会である。県としてもワーケーションや地域リーダーの育成などをし、さらにそれを応援する仕組みも準備しており、紹介するので活用して欲しい。体験価値を上げて誘客をすることが大切で一緒に取り組んでいきたい。

(委員) 清里×立教大学みたいなことを少し考えてみるというのもいいはずだと。景観の課題というところなんですけど、宿泊して頂いて、なおかつその2年利用していただくと言うところが肝心なところなんですけれども、お金ではなく時間を使っていただくことが必要だと思う。

(委員) これだけのメンバーだと時間制約があるので、グループ分けして、もっと時間をかけて具体的なプロジェクトができたらよい。観光地は自分が行ってみたいと思わないと、受け入れだけで考えるとずれが出てくる。美し森に上って30分くらいくつろげる場所はどうか。

(議長) たくさんのキーワードがあり分けることができ、フォレストネイチャーリゾートとか、そういったものをどうブランド化していくか。今日出てき

たキーワードを分けながら若い世代のグループを作ってもよい。今回出てきたアイデアをベースにワーキンググループでざくばらんに話せて次につなげていけたらよい。資源、ブランディング、次世代、事業継承、オーナーチェンジという言葉も出てきたが、どうやってつなげていくかも重要になってくる。空気感、食べ物、農業などちゃんとブランディングできれば若い世代に繋がっていく。時間が迫っているので、本日いただいた提案は後程。ビジョンと課題シートを出していただき、それをまとめ次のステップを考えていきたい。

(委員) 地域の人たちのおもてなしの気持ちを醸成していかなくてはならない。農業、酪農もあるのでその方達をうまく巻き込めるようにしたい。地域の人たちが本当のウェルカムができるように。

(議長) 最後に、ご意見があれば伺うがどうか。

(委員) 意見なし。

(議長) (3) その他事務局お願いします。

(事務局) ウェルネスツーリズムについて説明。次回は年度明け5月を予定。

(議長) その他なければ議事を終了します。

(委員) 異議なし

11. 閉会

11時50分終了

令和 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印